

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 20日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年 2月 15日

事業所名 たけっこ

保護者等数(児童数) 4 回収数 2 割合 50 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2				ブランコやトランポリンなど 様々な遊具でしっかり遊べ ています。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2				専門的かつ明るいスタッフが多くの 印象である。	職員が定期的に研修を受けており、専 門性は高いです。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化さ れた環境になっているか。また、障がいの特 性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされて いるか	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	2				玄関や廊下、トイレなど、と ても清潔だと感じます。	
適切 な支 援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画が作成 されているか	2				子どもの様子をきちんと把 握した上で適切な支援計 画を立ててもらっている。	子どもさんの発達年齢を見 極め職員皆でその都度状態 を共有しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」、「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか				2		地域支援に関して今後機会 を増やしていく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	2				苦手としていたことが少し ずつできるようになった。	発達の土台となる感覚を統 合していけるように支援して いきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫され ているか	2				玄関の写真を見る度、様々 な遊びや活動をされている と感じる。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか				2	交流があるかどうかかわら ない。	保育所等への訪問、交流はないが、近 くの公園等で一緒に遊べる環境はある ので、今後増やしていきたい。
保護 者へ の説 明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	2				詳しく説明していただきま した。	契約時に説明させていただ き、同意していただいており ます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がな されたか	2				支援計画は毎回わかりや すく説明してもらっている。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)が行われているか				2	行われているかどうかかわ らないが、気をつけることな ど教えてもらえるとうり がたい。	保護者の皆様に子どもさん との関わり方がわかりやす い説明等をできるように配 慮していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	2				その日の様子は伝えても らっており、楽しく過ご していることが伝わる。	今後もお帳面、口頭でしっ かりと伝えていけるよう に努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	2				面談した際に適切な助言 や資料をいただいてあり がたかった。	日々助言をさせていただ いております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか				2		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ているか	2				とても親身になって相談に 乗ってくださっている。	今後も迅速かつ適切に対 応して保護者様に安心し て頂けるよう努めます。

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					親御さんとのコミュニケーションは大切にしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか				2		今後は更新、対応してきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2					職員が皆危機意識をもって取り扱いには注意しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。				2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				2	訓練しているかどうかわからない。	訓練の様子を写真等で提示していけるようにします。 AEDを設置し、応急手当等の講習も受けています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2				毎回楽しみにしています。	感覚統合のプレイセラピーの場として、楽しみながらコミュニケーション能力を高めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	2				とても満足です。	子どもさんだけでなく、親御さんにもしっかりと満足していただけるように日々精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:平成 31年 3月 20日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年 2月 15日

事業所名 たけっこ

保護者等数(児童数) 71

回収数 24

割合 33 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		2	トランポリンなど様々な遊具でしっかり体を動かせるから良い。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2		3	専門的かつ明るいスタッフが多くの印象である。開所時からのスタッフが多く、安心できる。	職員が定期的に研修を受けており、専門性は高いです。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	2		4	玄関に手すり、スロープは設置されている。	
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	21	1		2	課題としていることを内容に挙げてくれている。	子どもさん一人一人の発達年齢を見極め職員皆で状態を共有し、今後も支援計画の作成に努めます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	3		5	音楽活動や体操、工作など、プログラムを工夫されている。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	5	11	兄弟等にもよく声をかけていただき嬉しい。一緒に遊べる空間があるとより良い。	今後少しずつ増やしていけるように検討していきます。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	4				契約時に説明させていただき、同意していただいております。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	5	1	1	子どもの困っていることを伝えて、それを改善しようとしてくれている。	子どもさんの課題をスタッフで共有しています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	5	2	1	質問したことに対しては詳しく応えてくれる。	気づいたこと等しっかりと伝えていけるように今後も努めていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		6	9	9	父母会等あれば情報共有もかねて参加したい。	保護者様同士の交流もできるような環境の設定を考えていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	1		8		今後も迅速かつ適切に対応していけるように努めます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	4	1		その日の様子や療育に関する情報など、よく提供してくれている。	今後もお帳面や口頭でしっかりと伝えていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	5	1	12	あまり詳しく知らない。ホームページが更新されているかも知らない。	今後インターネットでの情報公開に力を入れていけるように努めます。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	18	1		5		個人情報利用の同意書をいただき、職員も危機意識を持って取り扱いには十分注意しています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	4	8	よくわからない。	マニュアル等が周知されるように環境を整備していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	4		17	避難訓練の実施はスタッフの方から伺っている。	同一法人の施設にAEDを設置し、応急手当等の講習も受けています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24				いつも楽しみに通っている。	感覚統合のプレイセラピーの場として、楽しみながらコミュニケーション能力を高めていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	21	3			満足しています。	今後も親御さんにも安心して通っていただけるように努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 19日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 たけっこ

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9				
	2 職員の配置数は適切である	9				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			掃除がしっかりとできるような時間作り等に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2			スタッフ全員が意見を言う場面が少ないので、参加しやすいような環境設定や会議の運営方法について取り組んでいる。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3			保護者様のアンケート結果を元に、より良い業務へ繋げられるように創意工夫していきたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2			自己評価を行ったので、今後スタッフを含め保護者様の意見を踏まえた業務内容の改善に努め、定期的にホームページ等で公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			定期的な勉強会を実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1		ニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	2			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1		支援内容を共有できるように会議を開いている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2		スタッフ会議にて行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			複数のスタッフが持ち回りで活動プログラムを考案している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9			子どもさんの様子や発達段階に合わせて個別、集団の活動を織り交ぜている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			ケア前に必ずミーティングを行い、支援内容等の確認をしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2			共有している部分はあがるが、もう少し密に振り返られるような環境を整えていきたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			デイリーの記録を残している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	1		モニタリングを行い、子どもさんの発達段階に合わせて見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			子どもさんの様子に詳しいスタッフが参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	3			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	3			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	6			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1	1		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			その日の様子を伝えたり、保護者様からの相談に応えるといった対応をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	7			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時に詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	1			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	2		保護者様同士が情報の共有等できるように今後そういった機会を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	1		今後様々なツールを通して情報発信ができると良いと思い、検討している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			スタッフの守秘義務を徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2		必要な情報や子どもさんの発達についての情報をできるだけ伝えられるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	1		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1		対応できるようなシミュレーションを普段から行っている。	定期的に行っていけるように配慮していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			避難訓練を行っている。	保護者様にも行っていることを周知していただけるようにしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3		子どものアレルギー情報などは共有している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		その日に起こった危険なことに対しては話し合っ対策を立てている。	スタッフ間で共有できるように十分気をつけていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			虐待防止の研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 19日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 たけっこ

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			子どもの人数に応じて使用する訓練室を変える等している。	
	2	職員の配置数は適切である	9				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2			スタッフ皆が参加しやすく、意見が述べやすい会議の開催の仕方を検討している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3			アンケートを実施したので、それを元に業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2			今後も更新していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			定期的に子どもさんの発達に関する研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		保護者様のニーズを踏まえ、発達段階に合わせた支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2		発達段階に応じたアセスメント表を使用し、子どもさんの状態を把握している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2		ミーティングを行い、プログラムの立案を行っている。	多くのスタッフが参加できる工夫を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			スタッフが持ち回りでプログラムを立てている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			夏休みはプールなど、その時々に応じて課題や活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			子どもさんの様子や発達段階に合わせて個別、集団の活動を考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			ケア前にミーティングを行い、一日の流れや子どもさんの様子を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2			振り返りを行う日はあるが、状況によっては行えない日もあるので、できるだけ振り返る時間を確保していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			デイリーの記録を残し、次回の支援時の参考になっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1		モニタリングを行い、子どもさんの発達段階に合わせて見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	3			

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			子どもさんの様子をしっかりと理解しているスタッフが参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	6			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			お帳面や口頭で子どもさんの様子等を伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時に詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			保護者様からの相談に対しては、詳しいスタッフが答えられるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	2		保護者様同士が交流できる場所があると良いのではないかと検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	1		今後様々なツールを用いて情報発信できる方法を検討している。
	35	個人情報に十分注意している	9			守秘義務を徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	1		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		対応できるようなシミュレーションを普段から行っている。	定期的に行っていけるように配慮していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			虐待防止の研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		その日に起こった危険なことに対しては話し合っ対策を立てている。	スタッフ間でしっかりと共有し、危険がないように配慮していく。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 20日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年 2月 15日

事業所名 たけっこJ

保護者等数(児童数) 32 回収数 20 割合 63 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18			2	走り回るのに十分なスペースがあります。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			6	職員さんの人数がどれくらいいるか把握しづらい。	分かりやすいような工夫を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17			3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18			2	事務所、玄関、トイレなど、とても清潔だと感じます。	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	1		4	子どもの今の状態をきちんと把握した上で適切な支援計画を立ててもらっている。	子どもさんの発達年齢を見極め職員皆で状態を共有しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1		7		地域支援に関して今後機会を増やしていく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1		4	身体の使い方が上手くなり、体幹がしっかりしてきたと感じる。	発達の土台となる感覚を統合していけるように支援していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14			6	玄関の写真を見る度、様々な遊びや活動をされていると感じる。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		4	14	交流があるかどうかかわからない。	保育所等への訪問、交流はないが、近くの公園等で一緒に遊べる環境はあるので、今後増やしていきたい。
保護 者へ の 説 明 等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2	1		説明はわかりやすかった。クリスマスプレゼントの料金をもう少し安くしてほしい。	クリスマスプレゼント代については検討します。契約時に説明させていただき、同意していただいております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	1	1	4	ガイドラインに沿っているかはわからないが、支援計画はわかりやすく説明してもらっている。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	3	5	7	行われていれば参加したい。家でどんなことに気をつけると良いか教えてもらえると嬉しい。	保護者様に子どもさんとの関わり方がわかりやすい説明等をできるように配慮していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	4	3		様子は伝えてもらっている。こちらから聞かないと教えてもらえないこともある。送迎時にもアドバイスを頂いている。	その日の様子をお帳面、口頭でしっかりと伝えていけるようにスタッフの指導に努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	4	5	2	面談した際に適切な助言や資料をいただいていたがなかった。	日々助言をさせていただいております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	10	9	保護者の交流会、勉強会があると良い。	今後そういった会が開けるように検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	1	1	3	とても親身になって相談に乗ってくださっている。	今後も迅速かつ適切に対応して保護者の方に安心して頂けるよう努めます。

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	3	1	3		親御さんとのコミュニケーションは大切にしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	4	2	8	ホームページの更新をしっかりと行ってくれると嬉しい。	今後は更新、対応してきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18			2		職員が皆危機意識をもって取り扱いには注意しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3	4	2	11	特に説明はされていないが、備えはされていると思う。	今後情報をしっかりと発信できる体制を整えていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	3	1	15	訓練しているかどうかかわからない。	訓練の様子を写真等で提示していけるようにします。 AEDを設置し、応急手当等の講習も受けています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	3		1	毎回楽しみにしています。	子どもさんの笑顔をしっかり引き出していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	2		1	とても満足です。	子どもさんだけでなく、親御さんにもしっかりと満足していただけるように日々精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:平成 31年 3月 20日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年 2月 15日

事業所名 たけっこJ

保護者等数(児童数) 33 回収数 15 割合 45 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				汗をかくほどしっかり動きまわって遊べるスペースがある。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13				以前からのスタッフさんが多く、よくわかっていて感じている。	職員が定期的に研修を受けており、専門性は高いです。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10				スロープや手すりは玄関に見られます。	
適切な支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	14				相談したことや課題として、いることが内容に盛り込まれていると感じる。	子どもさんの発達年齢等の情報を見極めながら作成しています。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	9	1			リトミックや美術活動など、様々なことにも取り組まれている。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	3	11	行われているかどうか聞いたことがないのでわからない。	近くの公園等で一緒に遊べる環境はあるので、今後そういった関わりを増やしていきたい。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	2			説明はされたが、理解が難しい部分もあった。	契約時に説明させていただいていますが、今後わかりやすい説明の仕方を工夫していく。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				その日の様子やできたことを丁寧に説明してもらる。	子どもさんの情報をスタッフや親御さんと共有しています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1			帰り際など、ちょっとした相談でもしっかりと応えてもらっている。	今後も気づいたこと等をしっかりと伝えていけるように努めていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	8	5	あまりないと思うので、そういったことができるのかなと思う。	保護者様同士の交流もできるような環境の設定を考えていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		8		今後も迅速かつ適切に対応していけるように努めます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1		2	その日の様子や療育に関する情報など、よく提供してくれている。	今後もお帳面や口頭でしっかりと伝えていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	3	6	写真や文章で見てわかるようなものがあるとより良いと感じる。	今後インターネットツール等を用いた情報の公開にも力を入れていけるよう検討します。
非常時等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	10			5		職員皆が危機意識を持っています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1	2	6	されていると思うが、はっきりとはわからない。	周知できるように今後の説明の仕方を検討していきます。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		9	スタッフの方や子どもから避難訓練をしたと報告を受けており、されていると周知している。	AEDを設置し、応急手当等の講習も受けています。今後もしっかりと訓練していきます。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	2			とても楽しみに通っています。	感覚統合のプレイセラピーの場として、楽しみながらコミュニケーション能力を高めていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	15				子どもたちのためにしっかりと支援をしていただいていると感じます。	今後も親御さんにも安心して通っていただけるように努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 15日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 たけっこJ

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			・走り回れる十分なスペースがあります。	
	2 職員の配置数は適切である	10				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			掃除がしっかりとできるように、時間を効率よく使って協力しながら行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	5			スタッフ全員が意見を言う場面が少ないので、参加しやすいような環境設定や会議の運営方法について取り組んでいく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	4			保護者様のアンケート結果を元に、より良い業務へ繋がられるように創意工夫していきたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	4			自己評価を行ったので、今後スタッフを含め保護者様の意見を踏まえた業務内容の改善に努め、定期的にホームページ等で公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	3		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		3	子どもさんの発達や様子に関する定期的な勉強会を実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10			ニーズを踏まえ、子どもの発達年齢に応じた計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	4			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			支援内容を共有できるように会議を開いている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		スタッフ会議にて行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			複数のスタッフが持ち回りで活動プログラムを考案している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10			子どもさんの様子や発達段階に合わせて個別、集団の活動を織り交ぜている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			ケア前に必ずその日の流れ等をミーティングで確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3			共有している部分はあがるが、もう少し密に振り返られるような環境を整えていきたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			デイリーの記録を残している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	2		モニタリングを行い、子どもの発達年齢に合わせて見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			子どもさんの様子に詳しいスタッフが毎回参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	6			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	5			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	7			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	2	1		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			その日の様子をお帳面や口頭で伝えたり、保護者様からの相談に応えるといった対応をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	8			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			契約時に詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			相談の窓口を設け、専門的なスタッフが対応、助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	3		保護者様同士が情報の共有等できるように今後そういった機会を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	1		今後様々なツールを通して情報発信ができると良いと思い、検討している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			守秘義務を徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2		必要な情報や子どもさんの発達についての情報をできるだけ伝えられるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	2		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2		対応できるようなシミュレーションを普段から行っている。	定期的に行っていけるように配慮していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			避難訓練を行っている。	保護者様にも行っていることを周知していただけるようにしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10			子どもさんの服薬状況等は把握し、共有できるようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3		子どもさんのアレルギー情報などは共有している。	アレルギーのあるお子さんは契約時に親御さんより必ず聞き取りをしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		その日に起こった危険なことに対しては話し合って対策を立てている。	スタッフ間で共有できるように十分気をつけていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			虐待防止の研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 15日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 たけっこJ

		チェック項目	はい	どちら とも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			走り回れる十分なスペースがあります。	
	2	職員の配置数は適切である	10				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	1		スタッフ皆が参加しやすく、意見が述べやすい会議の開催の仕方を検討している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	3			アンケートを実施したので、それを元に業務改善や環境改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	3			今後も更新していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			定期的に子どもの発達に関する研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		保護者様のニーズを踏まえ、発達段階に合わせた支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2		発達段階に応じたアセスメント表を使用し、子どもの状態を把握している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		ミーティングを行い、プログラムの立案を行っている。	多くのスタッフが参加できるようなミーティングの工夫を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			スタッフが持ち回りでプログラムを立てている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		夏休みはプールなど、その時々に応じて課題や活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			子どもの様子や発達段階に合わせて個別、集団の活動を考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			ケア前にミーティングを行い、一日の流れや子どもの様子を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	1	新しい職員配置の場合はこまめに行っている。	振り返りを行う日はあるが、状況によっては行えない日もあるので、できるだけ振り返る時間を確保していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			デイリーの記録を残し、次回の支援時の参考になっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2		モニタリングを行い、子どもの発達段階に合わせて見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	4			

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			子どもの様子をしっかりと理解しているスタッフが参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	2	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			お帳面や口頭で子どもさんの様子等を伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	8			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			契約時に詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			保護者様からの相談に対しては、詳しいスタッフが答えられるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	3		保護者様同士が交流できる場所があると良いのではないかと検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	3			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	1		今後様々なツールを用いて情報発信できる方法を検討している。
	35	個人情報に十分注意している	10			守秘義務を徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	2		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2		対応できるようなシミュレーションを普段から行っている。	定期的に行っていけるように配慮していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			虐待防止の研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		その日に起こった危険なことに対しては話し合っ対策を立てている。	スタッフ間でしっかりと共有し、危険がないように配慮していく。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 20日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年 2月 15日

事業所名 たけっこ稲沢

保護者等数(児童数) 20 回収数 6 割合 30 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				広いスペースがあると感じています。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6				対応されるスタッフは専門的であるが、その他のスタッフはよくわからない。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6				目で見て次の行動がわかりやすい環境作りをされていると感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6				玄関やトイレ等、掃除が行き届いていると感じます。	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5				1 こちらの相談を踏まえた内容になっていると思います。	子どもさんの発達年齢を見極め職員皆で状態を共有しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				1	地域支援に関しては今後様々な機会を増やしていけるように検討します。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				1 身体の使い方が上手くなり、色々なことができるようになってきたと感じる。	発達の土台となる感覚の統合を目標に今後も支援していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4				2 外の広場での活動など、様々なことに取り組んでいると感じます。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			2		4 知らない園に行くのは不安の強い子には必要ないと思います。	子どもさんの様子や状態を踏まえた上で検討していきます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					契約時に説明させていただき、同意していただいております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5				1	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	1	2	2		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6				利用時の様子など詳しく伝えてもらっており、嬉しい。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1	1		年に一度面接の機会があると良い。	面談については検討します。お帳面や口頭でも対応できるように努めています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	2	3	もう少し保護者同士の交流があると良いのでは。	父母会の開催等も検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2		2	2	個人情報に関わることなので載せなくてもよいと感じる。 今後個人情報の取り扱いに十分注意しながらホームページ等の更新を行っていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5			1	個人情報利用の同意書をいただき、職員も危機意識を持って取り扱いには十分注意しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1			5	今後情報をしっかりと発信できる体制を整えていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1		1	4	行っているかどうか帳面に記載があると良い。 訓練の様子を写真等で提示していけるようにします。 AEDを設置し、応急手当等の講習も受けています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5			1	楽しく元気よく通っている。 プレイセラピーの場として、楽しみながらコミュニケーション能力を高めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	6				満足です。 今後も親御さんにも安心して通っていただけるように努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:平成 31年 3月 20日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年 2月 15日

事業所名 たけっこ稲沢

保護者等数(児童数) 33 回収数 12 割合 36 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				いつも走り回って遊んでいると聞いており、それに見合うスペースがあると確認しています。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	4				職員が定期的に研修を行っており、専門性は高いです。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12				スロープは設置されている。	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	8	4			課題としていることを支援計画に反映してもらっていると思う。	子どもさん一人一人の発達年齢を見極め職員皆で状態を共有し、今後も支援計画の作成に努めます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	10	2			写真を見ると、様々な遊具で遊んでいると感じられる。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	1				今後少しずつ増やしていけるように検討していきます。
保護者 への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	2	2	1		契約時に説明させていただき、同意していただいております。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	2	1		もう少し活動や食事等の様子を写真や動画で見せてほしい。	今後要望に合わせ、個人情報の取り扱いに注意しながら対応していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	4	3		言語訓練を再開してほしい。	言語訓練再開の検討を行っていきます。気づいたこと等しっかりと伝えていけるように今後も努めていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		6	6			保護者様同士の交流もできるような環境の設定を考えていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	7	1			今後迅速かつ適切に対応していけるように努めます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	5	1		様子等はお帳面や口頭で伝えてもらっています。	今後もお帳面や口頭でしっかり伝えていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	6	4			今後インターネット等を用いた情報の公開にも力を入れていけるよう検討していきます。
非常時 等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	11	1			靴や荷物についている名前シールは剥がしてほしい。	今後徹底していきます。個人情報利用の同意書をいただき、職員も危機意識を持って取り扱いには十分注意しています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	6	5			今後情報をしっかりと発信し、知ってもらえるように体制を整えていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		6	6			訓練の様子を掲示していけるように検討します。AEDを設置し、応急手当等の講習も受けています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1			毎週楽しみに通っています。	プレイセラピーの場として、楽しみながらコミュニケーション能力を高めています。
	18	事業所の支援に満足しているか	10	1	1		満足できる支援をしていたいただいています。	今後も親御さんにも安心して通っていただけるように努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 21日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			走り回れる十分なスペースがあります。	
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			職員が注意すべき点などまとめたものを掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			掃除がしっかりできるような時間作り等に努めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	1		スタッフ全員が意見を言う場面が少ないので、参加しやすいような環境設定に取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	1		保護者様のアンケート結果を元に、より良い業務へ繋げられるようにしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	3		自己評価を行ったので、今後スタッフを含め保護者様の意見を踏まえた業務内容の改善に努め、定期的にホームページ等で公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		2	定期的な勉強会を実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	2		ニーズを踏まえ、子どもさんの発達年齢に応じた計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		子どもさんの発達年齢に合わせたアセスメントを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	3	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	2		支援内容を共有できるように会議を開いている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		スタッフ会議にて行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		複数のスタッフが持ち回りで活動プログラムを考案している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	2		子どもさんの様子や発達段階に合わせて個別、集団の活動を織り交ぜている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2		ケア前に必ずミーティングを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2			共有している部分はあるが、もう少し密に振り返られるような環境を整えていきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2		デイリーの記録を残している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2		モニタリングを行い、子どもさんの発達年齢に合わせて見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			子どもさんの様子に詳しいスタッフが参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	3		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	2		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	3		その日の様子を伝えたり、保護者様からの相談に応えるといった対応をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	2		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	4		契約時に詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	4		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	2		今後様々なツールを用いて情報発信ができるように検討している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	1		守秘義務を徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		必要な情報や子どもさんの発達についての情報をできるだけ伝えられるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	5		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		2	対応できるようなシミュレーションを普段から行っている。	定期的に行っていけるように配慮していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	2			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			子どもさんのアレルギー情報などは共有している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	2	その日に起こった危険なことに対しては話し合って対策を立てている。	スタッフ間で共有できるように十分気をつけていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	1	虐待防止の研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 21日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			走り回れる十分なスペースがあります。	
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	1	改善点について普段から話し合える雰囲気作りに努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	3	1		アンケートを実施したので、それを元に業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	1	定期的に子どもさんの発達に関する研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		1	保護者様のニーズを踏まえ、発達段階に合わせた支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		発達段階に応じたアセスメント表を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		ミーティングを行い、プログラムの立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		スタッフが持ち回りでプログラムを立てている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		夏休みはプールなど、その時々に応じて課題や活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		子どもさんの様子や発達段階に合わせて個別、集団の活動を織り交ぜている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2		ケア前にミーティングを行い、一日の流れ等を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			ケア後に一日を振り返りながら気づいた点を話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		デイリーの記録を残し、次回の支援時の参考になっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2		モニタリングを行い、子どもの発達段階に合わせて見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	2			

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			子どもさんの様子をしっかりと理解しているスタッフが参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—	医療的ケアが必要なお子様は現在いらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			お帳面や口頭で子どもさんの様子等を伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	2		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		2	契約時に詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	2	保護者様からの相談に対しては、詳しいスタッフが答えられるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	5		保護者様同士が交流できる場所があると良いのではないかと検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	2		今後様々なツールを用いて情報発信ができるように検討している。
	35	個人情報に十分注意している	7			守秘義務を徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	5		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	2	対応できるようなシミュレーションを普段から行っている。	定期的に行っていけるように配慮していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3	1	避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		虐待防止の研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	—	現在該当するお子様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		その日に起こった危険なことに対しては話し合っ対策を立てている。	スタッフ間で共有できるように配慮していく。